

基礎簿記会計

基礎簿記会計

標準的な勘定科目の例示は、次のとおりである。

資産勘定	現金	普通預金	売掛金	商品(分記法)	貸付金	建物
車両運搬具	備品	土地	負債勘定	買掛金	借入金	純資産(資本)勘定
資本金	収益勘定	商品販売益	役員収益	受取利息	費用勘定	給料
広告費	発送費	旅費	交通費	通信費	水道光熱費	消耗品費
修繕費	支払家賃	支払地代	保険料	雑費	支払利息	その他の勘定
損益	引出金					

資産勘定

現金

(石山 宏)

通貨（紙幣および硬貨）ならびに通貨代用証券。通貨代用証券は、即座に通貨と引き換えられるか、通貨と同様に代金決済機能をもつ一定の証券であり、他人振出小切手、送金小切手、株式配当金領収証、期日の到来した公社債の利札などが該当する。

設例 山梨商店に原価¥390,000の商品を¥420,000で販売し、代金のうち¥250,000は同店振り出しの小切手で受け取り、残額は掛けとした。なお、商品売買取引は分記法で処理する。

(借)現金	250,000	(貸)商品	390,000
売掛金	170,000	商品販売益	30,000

設例 従業員の出張にさいし、その必要経費として概算で現金¥180,000を渡した。

(借)仮払金	180,000	(貸)現金	180,000
--------	---------	-------	---------

普通預金

(高橋 知寿)

要求があればいつでも自由に預け入れや払い戻しができる銀行預金。現金と同様に代金決済の手段となる。

設例 岡山商店に掛けで販売した商品¥320,000の代金が普通預金口座に入金された。

(借)普通預金	320,000	(貸)売掛金	320,000
---------	---------	--------	---------

設例 営業用の携帯電話の利用料¥15,000が普通預金口座から引き落とされた。

(借)通信費	15,000	(貸)普通預金	15,000
--------	--------	---------	--------

売掛金

(市川 紀子)

得意先との間の通常取引にもとづいて発生した営業上の未収入金。役務の提供による営業収益で未収のものを含む。たとえば、商品を掛売りしたときに発生する金銭債権をいう。

設例 埼玉商店に原価¥320,000の商品を¥370,000で売り渡し、代金は掛けとした。なお、商品売買取引は分記法で処理する。

(借) 売 掛 金	370,000	(貸) 商 品	320,000
		商品販売益	50,000

設例 埼玉商店に対する売掛金¥370,000を、同店振り出しの小切手で回収した。

(借) 現 金	370,000	(貸) 売 掛 金	370,000
---------	---------	-----------	---------

商品（分記法）

（望月 信幸）

営業活動で転売による利益獲得を目的として保有する財。商品売買取引を記録する分記法において、原価で商品の増減を記録する。証券会社では有価証券などが商品になり、不動産会社では土地や建物などが商品になる。

設例 徳島商店より商品¥150,000を仕入れ、その代金は小切手を振り出して支払った。なお、商品売買取引は分記法で処理する。

(借) 商 品	150,000	(貸) 当 座 預 金	150,000
---------	---------	-------------	---------

設例 高知商店に原価¥100,000の商品を¥140,000で売り渡し、代金は掛けとした。なお、商品売買取引は分記法で処理する。

(借) 売 掛 金	140,000	(貸) 商 品	100,000
		商品販売益	40,000

貸付金

（島本 克彦）

借用証書を受け取り金銭を貸し付けたときの債権。決算日の翌日から起算して1年以内に（1年を超えて）入金の際限が到来するものは、短期貸付金（長期貸付金）として流動資産（投資その他の資産）に表示する。

設例 富山商店に¥5,000,000を貸し付けることになり、借用証書と引き換えに小切手を振り出し手渡した。

(借) 貸 付 金	5,000,000	(貸) 当 座 預 金	5,000,000
-----------	-----------	-------------	-----------

設例 富山商店に貸し付けた¥5,000,000を、利息¥50,000とともに同店振り出しの小切手で受け取った。

(借) 現 金	5,050,000	(貸) 貸 付 金	5,000,000
		受 取 利 息	50,000

建 物

(小野 正芳)

店舗、事務所、工場、倉庫など、事業において使用するために1年を超えて所有する建設物。冷暖房、照明、換気設備、給排水設備などの付属設備を含む。登録免許税など使用可能な状態にするためのコストは帳簿価額に含める。

設例 現金¥1,000,000と建物¥15,000,000を元入れして、営業を開始した。

(借)現金	1,000,000	(貸)資本金	16,000,000
建物	15,000,000		

設例 所有している店舗用建物（取得原価¥3,000,000、減価償却累計額¥1,200,000）を¥2,000,000で売却し、代金は月末に受け取ることとした。

(借)未収金	2,000,000	(貸)建物	3,000,000
建物減価償却累計額	1,200,000	固定資産売却益	200,000

車両運搬具

(小野 正芳)

自動車、トラック、鉄道車両など、事業において使用するために1年を超えて所有する陸上用運搬具。自動車税など使用可能な状態にするためのコストは帳簿価額に含める。

設例 東京自動車販売株式会社から、商品運搬用に小型トラックを購入し、代金¥1,500,000は1か月後に支払うこととした。

(借)車両運搬具	1,500,000	(貸)未払金	1,500,000
----------	-----------	--------	-----------

設例 所有している商用自動車（取得原価¥3,000,000、減価償却累計額¥1,200,000）を¥2,000,000で売却し、代金は月末に受け取ることとした。

(借)未収金	2,000,000	(貸)車両運搬具	3,000,000
車両運搬具減価償却累計額	1,200,000	固定資産売却益	200,000

備 品

(小野 正芳)

オフィス家具、事務機器、商品陳列棚など、事務処理あるいは事業において使用するために1年を超えて所有する物品。据付費など使用可能な状態にするためのコストは帳簿価額に含める。